

脱炭素経営のすゝめ ～始めませんか、脱炭素経営～



▲出典:環境省ZEBポータルサイト

令和8年
2月13日(金)

まずは、
できることから始めよう。
快適に省エネ、新設備は優先順や
高効率を考えよう。経費節減にも
なるよ。



- ・焼津市の地球温暖化対策
- ・カーボンニュートラルのファーストステップ
- ・事例を踏まえた省エネ、創エネのご紹介

時 間 13:30～15:00
会 場 消防防災センター
(焼津市石津1丁目6-1)
多目的ホール
定 員 50人(先着順)
参加費 無料
申 込 下記の二次元コード
から2月6日までに
お申し込みください。
駐車場 裏面をご覧ください。
※なるべく相乗りでお願いします。



申
込
先

講師

リコージャパン(株)

清水 洋岐氏

1993年リコー入社。リコー経済社会研究所研究員、リコー環境事業開発センター事業戦略室室長を経て、2022年からGX事業部脱炭素ソリューション企画室室長に就任し、現在に至る。

環境省認定脱炭素アドバイザー、エコアクション21の審査員補等の資格を有し、環境行政に明るい。各地で講師を務めている。

主催・問合せ先 焼津市役所 環境課カーボンニュートラル推進室
電話 054-626-2153 FAX 054-626-2183
E-Mail kankyo@city.yaizu.lg.jp

共催 焼津商工会議所 大井川商工会

ZEB (Net Zero Energy Building) とは

	従来の建物	ZEB
エネルギー消費量	エネルギーを浪費して快適 or 我慢して省エネ	快適に省エネ
快適性	× 大きい ○ 快適	○ 小さい × 我慢

「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。

▲出典:文・図ともに環境省ZEBポータルサイトより引用

ZEBなら省エネと快適性の両立が可能に

「エネルギーを多く使用して快適性を確保する」、「快適性を損なってでも我慢してエネルギー消費量を減らす」といったように、建築物の設計・運用によっては、エネルギー消費量の削減と健康・快適性、知的生産性の向上はトレードオフの関係になってしまふ可能性があります。

一方で、断熱・遮熱性能等の建物外皮の性能や、熱源設備等の性能が高いZEBであれば、エネルギー消費量を抑えながら、快適性や知的生産性といった居住空間の質をこれまで以上の水準に向上させることもできます。

また、このような省エネと快適性等との両立を図るための技術としては、例えば高性能断熱材や自然換気といった技術が挙げられます。

(出典:環境省ZEBポータルサイトより引用)

駐車場のご案内

庁舎西側の敷地
下図の囲った場所に駐車してください。

